

キノコモ通信

第 58 号

平成 29 年 11 月 30 日

発行責任者 尾崎直利



里山整備のシーズンに突入した 11 月 23 日、祝日の影響もあったのか、少し寂しい 6 名のメンバーが集結。今季初の活動で心地よい汗を流しました。

ビオトープエリアは、明け方までの雨とイノシシが又々場として愛用していることが相俟って、通路の足場も悪い状況となっています。

イノシシが良質な脂を纏うまで蓄養しつつも、壊された排水路の整備を進め、通路の復元が必要です。

これから寒くありませんが、今シーズンも頑張っ活動が続けますので、皆様の参加をお待ちしています。

シノブとの戦いに勝利したかあ・・・てか？

シノブに戦いを挑むこと 5 年。重点的に整備を進めてきた谷筋においては、シノブの生長が、目に見えて小さくなってました。多くのメンバーによる継続した活動が、成果として出てきたように感じています。

さて、今年も市内において台風 21 号による被害が発生しました。CO²の固定や、水量調整機能を担う里山が劣化を続けておりますし、遊水池の役割をしていた農地や里山も、全国レベルで宅地として開発されていますので、台風の巨大化や河川の氾濫が起きても不思議ではありません。

このような中、「不都合な事実 2～放置された地球～」が上映中です。気候変動を食い止めるために日々奔走するゴア前副大統領の姿を追ったドキュメンタリー映画ですが、取材の中でゴア氏は、活動の原動力は「子供たちの世代に対する私たち世代の責任」という視点での話をされていました。

私たちは、便利で豊かな生活を享受していますが、この映画を見て、自分の欲求を満たすだけでなく、次の世代のことも考えながら、何か一つでも今までのライフスタイルを見直すきっかけとすることも大切かな・・・等と考えつつも、自家用車通勤の毎日です。

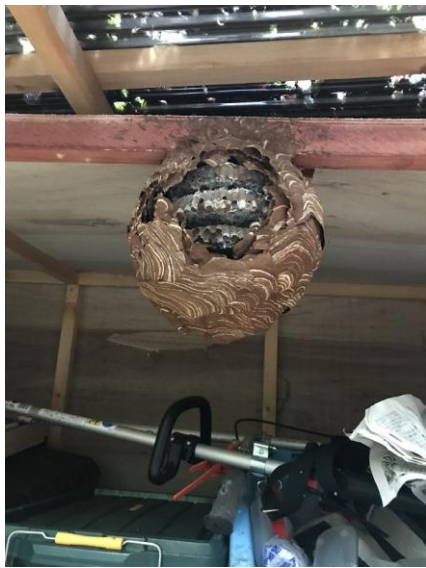


活動当初は背丈に伸びていた・・・ピフォアー



夏を越しても勢いは復帰せず・・・アフター

開けてびっくり 間一髪



活動資材を収納している道具入れを開けてびっくり、黄色スズメバチの巣が目の前にぶら下がっているではありませんか。

今年は雨の影響で、活動を中止せざるを得ない状況が続き、結果として初めての活動が初冬となったことから、女王蜂は冬眠に入り、すでに空き家状態であったことから被害を免れました。

通常とおりの活動なら、間違いなくスズメバチの総攻撃に曝されたことでしょう。

これも偏に、メンバーの普段の行いのおかげ・・・かな扉を開ける際に一部破損しましたが、裏面は無傷と思いますので、欲しい方は事務局までご連絡を

今回も頑張ったぞ)^o^(



次回活動日のお知らせ

日程：平成29年12月16日(土)

時間：午前8時30分 市役所正面駐車場の北側又は現地駐車場集合

内容：枯木伐採、シノブや雑草退治
通路復旧作業



メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。この想いを持つ全国の国・地方の公務員が全国で活躍しております。里山からの恵みを享受しながら、持続可能な活動を目指しています。特に、若くて体力のあるみなさまの積極的な参画をお待ちしております。興味のある方は、木津川市役所 マチオモイ部の武田までご連絡ヨロシク。